

出張報告書

平成30年 2月 5日

職氏名 議員 田 中 義 一 議員 香 川 昌 則 議員 江 村 卓 三 議員 星 出 恒 夫	用 務 ・MICE振興戦略について（香川県高松市）
期 間 平成30年 1月22日から 平成30年 1月23日まで	出張先 香川県 高松市

OMICE振興戦略について

（説明等：高松市創造都市推進局 文化・観光・スポーツ部 観光交流課 諏訪課長、吉峰課長補佐）



冒頭に、高松市議会議員 森川 輝男 様から歓迎の挨拶、林会長より、お礼の挨拶があり、その後、高松市観光交流課から説明を受けた。

高松市は、年間で200件以上のコンベンションが開催されており、参加人数は、70,000人強、国際会議も3～5件開催されている。その経済効果は、平成28年度で54億円強であると試算されている。

会場となるのは、市所有の高松市文化芸術ホール、県所有のかがわ国際会議場、香川県民ホールなどが現在あり、平成35年には県立体育館、観客席5,000人、収容10,000人規模、建設費約160億円の建設が予定されている。この県立体育館が出来ると、大きな会議も誘致することができるので期待しているとのことであった。このほかにも、高松城跡地である玉藻公園や栗林公園の商工奨励館での開催などがユニークベニューとして紹介された。

開催された会議の主なものとして、日仏自治体会議やG7香川・高松情報通信大臣会合、日台観光サミットを紹介いただいた。MICEの中でも開催



効果が高い国際会議や学会等のコンベンションを中心に誘致活動をしているが、MICEの開催情報の収集や管理と、MICE施設の予約や効率的な組み合わせを提案できる仕組みづくりが今後必要であるとのことであった。先述の会場が市所有と県所有に分かれているため、申込方法などが異なり、主催者側に負担が増えるため、手続き等の統一が必要であるとのことであった。そのほかにもMICEに求められるインフラ（公衆無線LANの拡充やMICE施設の機能向上等）の整備を図る必要があるとのことであった。

誘致活動としては、トップセールスや、韓国の国際会議主催者セミナーに出席したりもしている。また会議の規模等に応じて最大で500万円を限度とする補助金を出しているとのことであった。

下関市でもMICEが開催されるようになれば、一定の効果があるのではないかと思われる。